

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	市川市家庭教育支援チーム (呼称: ふわ RIN 子育て)
②活動拠点	市川市男女共同参画センター
③活動範囲	市川市全域
④組織体制	14 人 生活相談士10人、ママさんサポーター4人 (元教員3人、元保育士1人、民生委員1人を含む)
⑤活動開始年度	平成 17 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 「ふわ RIN 子育て」加藤 恵子 (TEL)090-2450-4400 (E-mail) fuwarin.ichikawa1@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

1、「ふわ RIN 子育てセミナー」の開催

チーム名「ふわ RIN」には、ふんわりとやわらかで何のこだわりもなく澄みきった張りきった心でふんわりと子育てをしてもらいたいという想いから付けました。

市川市教育委員会の後援をいただき、年 6 回以上の子育てセミナーを開催しております。妊婦さんから子育て中の保護者を対象に、子育てに関するテーマで講師をお呼びして講話の時間や保護者同士の悩みを共有し合う時間を設けております。また、講師にアドバイスや個人相談を受けることもできます。

2、子育て cafe

子育てセミナー参加の保護者を対象に年 2 回開催し、自由にお茶を飲みながらママ同士おしゃべりを楽しんだり、相談士に子育てや家庭の悩みを相談したりすることができます。

3、子育て発表会

年 1 回開催される千葉県子育て発表会では子育て中の保護者が参加し、各地域の 1 年間の活動の成果を発表します。コロナ禍では zoom も利用し、少しでも参加しやすくしました。

4、子供倫理塾

小学生以下の子ども達を対象に「遊び」「学び」「しつけ」を 3 本柱に子ども達が楽しめる活動を年 6 回開催しております。たけのこ堀りや遠足、畑仕事の他、クッキングや雑巾縫い、工作なども行います。子ども達が中心となって挨拶や後片付け、仲間と協力することを身につけていきます。

5、駅前清掃

月 1 回、市川市内 4 か所の駅前で清掃を実施しています。子ども達から学生、社会人、シニアまでの様々な年代の方々と協力をしながら清掃活動を行っています。



<子育てセミナー>



<子育て発表会>



<子供倫理塾> (たけのこ堀)



<駅前清掃>

④活動の成果

(活動実績がある場合)

- 1、「ふわ RIN 子育てセミナー」に参加した皆さんが「悩んでいたけどスッキリした」「ママ友には相談できないことも話せてよかった」と笑顔で帰られたり、講師からのアドバイスを実際に実践して「家庭が明るくなった」「夫婦の関係が良くなった」「子どもの気持ちを受け止めることができるようになった」という方がいました。
- 2、子育て cafe に参加の方同士で情報の共有をしたり、相談士への個人相談でじっくり悩みを聞いてもらえることで、リフレッシュできたという感想をいただきました。
- 3、子育て発表会で各地域の子育て中の保護者と交流することで、活動を続ける意義や新たな発見がありました。
- 4、子供倫理塾で遊びながら学ぶことで、人前では恥ずかしくて話せなかった子ども学校で積極的に発表するようになったり、家で自ら進んでお手伝いをするようになりました。また、挨拶や返事、感謝の気持ちを自然と伝えられるようにもなりました。
- 5、駅前清掃を通してゴミの問題や地球環境に関心を持つようになりました。

⑤活動財源

(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(主催である家庭倫理の会市川市より予算を組んでいただき活動しています)